

2012年7月5日

国会 東京電力福島原子力発電所事故調査委員会 報告書公表

.....
東電の報告、そして他の全ての報告書が記載している「第1波は15時27分ごろ、第2波は15時35分ごろ」という津波到達時刻は、沖合1.5km地点に設置された波高計の記録上の第1波、第2波の時刻である。これは沖合1.5km地点の到達時刻であり、1Fへの到達時刻ではあり得ない。
.....

国会事故調 報告書

本編

第2部 事故の進展と未解明問題の検証

207頁

2.2 いくつかの未解明問題の分析または検討

3) 事故の進展を決定的に悪化させた非常用交流電源の喪失について、東電の中間報告書はもちろん、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会（政府事故調）の中間報告書、保安院の「技術的知見について」など全てが「津波による浸水が原因」とし、津波第1波は15時27分ごろ、第2波は15時35分ごろとしている。しかしこれらの時刻は、沖合1.5kmに設置された波高計の記録上の第1波、第2波の時刻であり、原子力発電所への到着時刻ではない。そうすると、少なくとも1号機A系の非常用交流電源喪失は、津波によるものではない可能性があることが判明した。全交流電源喪失は津波による浸水と断定する前に、このような基本的な疑問に対する筋の通った説明が必要である。

225 - 227頁

2.2.3 津波襲来と全電源喪失の関係について

- 1) 従前の報告書の判断
- 2) 従前の報告書の津波到達時刻の基本的誤りと実測データ
- 3) 非常用交流電源喪失の原因が津波であり得る条件
- 4) 全交流電源喪失原因のさらなる検証を